

ヴォリュームアキュライザーの活用(12)

—複数箇所への同時適用(9)—

1. 始めに

前報(11)に引き続き、若松通商 Maranz7 タイププリアンプキットのシステムに適用してみます。

2. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴方法

若松通商 Maranz7 タイププリアンプキットのシステムへの適用はヴォリュームアキュライザーの導入(7)で報告しています。Langevin 6V6pp への適用はヴォリュームアキュライザーの導入(19)で報告しています。

今回は、下記システムを使用して、アナログ音源で VRA-7 の効果を確認します。

Garrad 401→(フォノケーブル)→My Sonic Stage1030→(RCA ケーブル)→
マランツ7タイプキットプリアンプ (フォノ入力→アンバランス出力端子)→
(アンバランスケーブル)→TruPhase→(アナログアキュライザー)→Langevin
6V6pp

なお、Garrad 401 のカートリッジは ZYX R100-EX です。

今回は、Maranz7 タイププリアンプの後続ステージの TruPhase と Langevin 6V6pp のヴォリュームにも VRA-7 を適用します。

今回は、ヴォリュームアキュライザーの導入(7)で使用した次のアナログ盤を選定しました。

なお、イコライザーカーブや位相の切り替えはできませんので、すべて RIAA の正相で聴いていきます。

LONDON SLC 1138

ファリャ 三角帽子

アンセルメ指揮スイスロマンド

ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020

J.S.Bach チェンバロ協奏曲

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュユコンサート

harmonia mundi(Deutche) KUX-3248-H

ミトマニア

ベーレン・ゲスリン

キングレコード SKA-104

愛と自然の歌

倍賞千恵子

3. ヴォリュームアキュライザーVRA-7の試聴結果

今回は、Langevin 6V6ppのヴォリュームに貼った状態で聴いておき、前段のMaranz7タイププリアンプとTruPhaseのヴォリュームに貼ってみることにします。

Garrad401のシステムとしては、Langevin 6V6ppのヴォリュームに貼った状態だけでも、LINN LP-12のシステムに比べて格落ちのカートリッジとプレイヤーとフォノイコライザーですが、これまでなかったくらいのクオリティで効かせてくれます。さらにMaranz7タイププリアンプとTruPhaseのヴォリュームに追加で貼っていきますと、次のようになっていきました。

三角帽子では、オーケストラの音の分離が向上します。

チェンバロ協奏曲では、アンサンブルの音の分離が向上し、わずかに残っていた粗さがとれ、全体に優しい雰囲気が出てきます。

ミトマニアでは、男女のボーカルの抜けがよくなり、バックの伴奏の音場感もリアルになります。

倍賞千恵子では、声が優しくなり、バックの伴奏の音が弾みます。

4. まとめ

若松通商Maranz7タイププリアンプキットのヴォリュームに加えて、後続ステージのTruPhaseとLangevin 6V6ppのヴォリュームにもVRA-7を適用した効果を認めました。

以上